Net'Attest EPS 設定例

連携機器:

Meru MC1500、AP1020i

Case: TLS 方式での認証

Version 1.1

株式会社ソリトンシステムズ



Net'Attest®は、株式会社ソリトンシステムズの登録商標です。 その他、本書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。 本文中に ™、®、©は明記していません。

Copyright \odot 2011, Soliton Systems K.K. , All rights reserved.



はじめに

本書について

本書は CA 内蔵 RADIUS サーバプライアンス Net'Attest EPS とメルー・ネットワークス社製 無線 LAN コントローラ MC1500、無線アクセスポイント AP 1020iの 802.1X 環境での接続について、設定例を示したものです。 各機器の管理 IP アドレス設定など、基本設定は既に完了しているものとします。 設定例は管理者アカウントでログインし、設定可能な状態になっていることを 前提として記述します。

表記方法

表記方法	説明
ABCDabcd1234	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、
(normal)	コード例を示します。
ABCDabcd1234 (bold)	ユーザが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して示します。
ABCDabcd1234 (italic)	変数を示します。実際に使用する特定の名前または値で置き換えます。

表記方法	説明
ſ J	参照するドキュメントを示します。
٢J	参照する章、節、ボタンやメニュー名、強調する単語を示します。
[+-]	キーボード上のキーを表します。
[‡-1]+[‡- 2]	[キー1]を押しながら[キー2]を押すことを表します。

表記方法(コマンドライン)

表記方法	説明
%, \$, >	一般ユーザのプロンプトを表します。
#	特権ユーザのプロンプトを表します。
[filename]	[]は省略可能な項目を示します。この例では、filenameは省略してもよ
	いことを示しています。

アイコンについて

アイコン	説明
٤	利用の参考となる補足的な情報をまとめています。
<u>.</u>	注意事項を説明しています。場合によっては、データの消失、機器の破損 の可能性があります。

画面表示例について

このマニュアルで使用している画面(画面キャプチャ)やコマンド実行結 果は、実機での表示と若干の違いがある場合があります。

ご注意

本書は、当社での検証に基づき、Net'Attest EPS 及び MC1500、AP10 20iの操作方法を記載したものです。すべての環境での動作を保証する ものではありません。



目次

1	構成.		6
	1-1	構成図	. 6
	1-2	環境	. 7
2	Net'A	Attest EPS	8
	2-1	Net'Attest EPS 設定の流れ	. 8
	2-2	システム初期設定ウィザードの実行	. 9
	2-3	サービス初期設定ウィザードの実行	. 9
	2-4	Authenticator(RADIUS Client)の登録	11
	2-5	RADIUS サーバ基本設定	12
	2-6	ユーザーの登録	13
	2-7	ユーザー証明書の発行	14
3	Meru	I MC1500、AP1020i	15
	3-1	Meru MC1500、AP1020i 設定の流れ	15
	3-2	RADIUS サーバの登録	16
	3-3	無線アクセスポイントの接続	17
	3-4	無線セキュリティ設定1(Security Profileの設定)	18
	3-5	無線セキュリティ設定2(ESS Profileの設定)	19
4	クラー	イアント PC の設定	20
	4-1	クライアント PC 設定の流れ	20
	4-2	ワイヤレスネットワーク接続先の登録	21
	4-3	ユーザー証明書のインポート	23
	4-4	インポートされたユーザー証明書の確認	26



1 構成

1-1 構成図

- ・有線LANで接続する機器はL2スイッチに収容
- ・有線LANと無線LANは同一セグメント
- ・無線LANで接続するクライアントPCのIPアドレスは、 Net'Attest EPS-ST03のDHCPサーバから払い出す





1-2 環境

1-2-1 機器

役割	メーカー	製品名	SW バージョン
Authentication Server (認証サーバ) Soliton Systems		Net'Attest EPS ST-03	Ver. 4.2.0
Authenticator	Meru Networks	MC1500	Ver.4.1-55
(認証機器)	Herd Networks	AP1020i	Ver.4.1-55
Client PC / Supplicant	Panasonic	Lot's poto (E-W/7	Windows XP SP3
(802.1x クライアント)	Microsoft	Let's hole CF-W7	Windows 標準サプリカント

1-2-2 認証方式

IEEE 802.1x TLS

1-2-3 ネットワーク設定

	EPS-ST03	MC1500	AP1020i	Client PC
IP アドレス	192.168.1.2/24	192.168.1.102/24	_	192.168.1.112 (DHCP)
RADIUS port (Authentication)	UDP	UDP 1812		
RADIUS port (Accounting)	UDP 1813		_	
RADIUS Secret (Key)	soliton		_	



2 Net'Attest EPS

2-1 Net'Attest EPS 設定の流れ

設定の流れ

- 1. システム初期設定ウィザードの実行
- 2. サービス初期設定ウィザードの実行
- 3. RADIUS クライアントの登録
- 4. 認証ユーザーの追加登録
- 5. 証明書の発行



2-2 システム初期設定ウィザードの実行

システム初期設定ウィザードを使用し、以下の項目を設定します。

- ◆ タイムゾーンと日付・時刻の設定
- ◆ ホスト名の設定
- ◆ サービスインターフェイスの設定
- ◆ 管理インターフェイスの設定
- ◆ メインネームサーバの設定

S → http://192.1682.1:2181/	💌 🗟 🐓 🗙	
😭 お気に入り 🌈 システム管理-Net'Attest EPS 🚺 🏠 • 🗋	- 🗈 🖶 • ページ(P)・ セーフティ(S)・ ツール(O)・ 🕡・	
Net Attest EPS		
 ● <u>システム初期</u> ● サービス初期 	明設定	
ー、システム官理へーン	/へ 初期設定ウィザード - 設定項目の確認	2
	ホスト名	naeps.na-labo.soliton.jp
Copyright © 2004-2010, Soliton Systems K.K., All rights reserved.	サービスインターフェイス	
	₽₽₽₣₽ス	192.168.1.2
	サブネットマスク	255.255.255.0
	デフォルトゲートウェイ	
	管理インターフェイス	
	ピアドレ ス	192.168.2.1
	サブネットマスク	255.255.255.0
	デフォルトゲートウェイ	
	ドメインネームサーバー1	192.168.1.100
	ドメインネームサーバー2	
	設定内容を確認して下さい。 この設定を保存・反映するには「再起	動」ボタンをクリックして下さい。
		反る一再起動
	Copyright © 2004-2010, Soliton Systems K	.K., All rights reserved.



サービス初期設定ウィザードの実行

サービス初期設定ウィザードを実行します。

本書では、黒文字の項目のみ、設定しました。

- ◆ CA 構築
- ◆ LDAP データベースの設定
- ◆ RADIUS サーバの基本設定(全般)
- ◆ RADIUS サーバの基本設定(EAP)
- ◆ RADIUS サーバの基本設定(証明書検証)
- ◆ NAS/RADIUS クライアント設定

初期設定ウィザード - CA構築			
		初期設定ウィザード - LDAPデ	ータベースの設定
CA種別選択		行住针角。 赵 相	
CA種別選択		福朱刈家• 机 况	
CA秘密鍵生成		名前*	LocalLdap01
公開鍵方式	RSA 🔽	サフィックス*	dc=na-labo,dc=soliton,dc=jp
鍵長	2048 💌		A
CA情報		説明	
CA名(必須)	na-labo CAD1		
国名	日本 🔽		展る)次へ
都道府県名	Tokyo		
市区町村名	Shinjuku		
会社名(組織名)	Soliton Systems K.K.		
部署名	Mktg		
E-mailアドレス	na-admin@na-labo.solit(- 初期設定ウィザード - RADIUS	サーバーの基本設定
CA署名設定			
ダイジェストアルゴリズム	SHA1 🔽		
有効日数	3650	全般	
		認証ボート*	1812
		アカウンティングボート*	1813
Copyright © 2004-2010, Soliton Sys	stems K.K., All rights reserved.	□ ログにパスワードを表示する	る(PAP認証のみ)
		■ セッション管理を使用する	
		■ 冗長構成時、アカウンティン	ングパケットをパートナーに転送する



2-4 Authenticator(RADIUS Client)の登録

WebGUI より、RADIUS Client の登録を行います。

「RADIUS サーバ設定」→「NAS/RADIUS クライアント追加」から、RADI US Client の追加を行います。

 naeps.local システム設定 システム管理 シロサクロ 	💂 NAS/RADIUSクライア	ント一覧 		
・証明破) ・DHCPサーバー ・LDAPサーバー RADIUSサーバー ・記動/停止 ・RADIUSサーバー設定 ・RADIUSサーバー管理	<u>NAS/RADIUSクライアント名</u>	177FUZ	説明	020
	編集対象:	新規		
NAS/RADIUSクライアントー	覧 NAS/RADI	「Sクライアント名*	Meru	
	M このNA	S/RADIUSクライアントをオ	有効にする	
+ <u>+</u> -y-	説明			
	IP アドレス・		192.168.1.102	
	シークレット		•••••	
	所属するNA	ASグループ		
AS/RADIUS クライフ	7ント名]			
Meru				キャンセル 通用
アドレス(Authentic	ator)]			
192.168.1.102				

 \cdot soliton



2-5 RADIUS サーバ基本設定

WebGUI より、RADIUS サーバの基本設定を行います。

「RADIUS サーバ」→「RADIUS サーバ設定」→「基本設定」→「EAP」から設 定を行います。



2-6 ユーザーの登録

WebGUIより、ユーザー登録を行います。 「ユーザー」→「ユーザー一覧」から、『追加』ボタンでユーザー登録を始め ます。



2-7 ユーザー証明書の発行

WebGUI より、ユーザー証明書の発行を行います。

「ユーザー」→「ユーザー一覧」から、該当するユーザーの「証明書」の欄の 『発行』ボタンでユーザー証明書の発行を始めます。

Net Attest EPS				(1)トッフページ) 〇 読定保存) 〇 ロジオフ)
= naeps na−labo soliton jp	🧏 ユーザー一覧			-
■システム設定 ■システム管理 ユー	-ザー	グループ 🔸 1000 ユーザ	「一まで「秋索」	
■証明機関 ■ DHCR## _ / _	名前		ユーザーID 17	道加 1981ま タスク
* UDAPサーバー			soliton_user	26 X E M R
* RADIUSサーバー				
- ユーザー一覧				
 ▼ クフポート インポート 		サナキャ		
■ ユーザーバスワードポリシー 		至 平旧報	Sattes -	
* ナフォルトユーサーフロファイル		<u>Xt</u>	2012	
		名		
		E-Mail		
		=¥ ∿m4=±17		A
【証明書有効期限】		計和工具業		-
		認証情報		
· 365		ユーザーID	soliton_user	
「証明書ファイルオプション	パフロード1	有効期限		
【証明目ングイルパンンコン		●日数 365		
 password 		● 日1寸 <mark>201</mark> で	1 ▼ 年 10 ▼ 月 22 ▼ 日 23	▼時 <mark>59 ▼</mark> 分 <mark>59 ▼</mark> 秒 よ
		証明書ファイルオブ	ション	
【PKCS#12 ノアイルに証明	機関の・・・」	パスワード	•••••	
・チェッ ク 有		バスワード(確認)	•••••	
		※バスワードが空間	の場合には、ユーザーのパスワ	ードを使用します。
			山に証明機関の証明書を今	фд
		I I RC5#127 / T		
				発行 キャンセル
Mas Aunorna				
Ner Allest EPS				
■ naeps.na-labo.soliton.jp	ユーザー証明書の)ダウンロード		
 システム設定 システム 管理 				
 ・ ンスノム管理 ■ 証明機関 	ユーザー証明書ダウ	フンロードの準備ができま	した。対象をファイルに保存して	下さい。 ダウンロード
● DHCPサーバー				
・LDAPサーバー				
■ RADIUSサーバー				
 ユーザー一覧 				
■ エクスポート				
■ インポート				
■ ユーザーパスワードポリシー				
■ テフォルトユーザーブロファイル				



3 Meru MC1500、AP1020i

3-1 Meru MC1500、AP1020i 設定の流れ

本書では、管理 WebGUI から各種設定を実施する方法を紹介します。

設定の流れ

- 1. RADIUS サーバの登録 (RADIUS Profile の設定)
- 2. 無線アクセスポイントの接続
- 3. 無線セキュリティ設定1 (Security Profile の設定)
- 4. 無線セキュリティ設定2 (ESS Profile の設定)

3-2 RADIUS サーバの登録

RADIUS サーバの設定をします。

TOP ページの[Configuration]リンクをクリックし、Security メニューの[Rad ius]リンクをクリックします。右側の画面下にある[Add]ボタンをクリックす ると、RADIUS 設定項目が表示されますので、値を入力します。



3-3 無線アクセスポイントの接続

AP1020i が MC1500 に自動認識されていることを確認します。

AP1020iを MC1500 と同じネットワークセグメントに接続後、MC1500 の管理 WebGUI の左側のメニューから[Maintenance]をクリックし、Devices の[A Ps]をクリックします。

右側の AP Table に無線アクセスポイントが表示されていることを確認します。





3-4 無線セキュリティ設定1 (Security Profile の設定)

無線の暗号化方式を設定します。

左側のメニューから[Configuration]をクリックし、Securityの[Profile]リンク をクリックします。その後、Security Profile Name "default" の■をクリッ クし、右側の設定項目に値を入力します。



- [L2 Modes Allowed]
- ・WPA2(チェック)
- [Data Encrypt]
- ・CCMP-AES(チェック)
- [Primary RADIUS Profile Name]
 - NetAttestEPS
- [802.1X Network Initiation]
- ON



3-5 無線セキュリティ設定2 (ESS Profile の設定)

無線 LAN 端末が接続する無線ネットワークの名前を設定します。

左側のメニューから[Configuration]をクリックします。Wirelessの[ESS]リン クをクリックし、右側の画面下にある[Add]をクリックし、設定項目に値を入力 します。

WLAN Management	t admin@192.168.1.102	level:15 2:50:46 PM <u>QLI</u> Si	ave Logout Help MCRU
Monitor	ESS Profile - Add		·
Maintenance			
Configuration	ESS Profile Name	Meru	Enter 1–32 chars., Required
System Config	Enable/Disable	Enable 💌	
Quick Start	SSID	MeruTEST	Enter 0–32 chars.
Profile	Security Profile Name	default 💌	
Radius	Primary PODIUS Accounting Service		
Captive Portal	Frimary RADIOS Accounting Server	NO RADIUS	
Guest Users	Secondary RADIUS Accounting Server	No RADIUS	
Mac Filtering	Accounting Tatavian Tatavial (accounted)	2000	
Wireless IDS/IPS	Accounting Interim Interval (seconds)	3600	Valid range: [600-36000]
Rogue APs	Beacon Interval (msec)	100	Valid range: [20-1000]
Air Shield			
AP Packet Capture	SSID Broadcast	On 💌	
Wired VLAN	Bridging	🗆 AirFortress 🗖 IPV6 🛛 🗖	AppleTalk
GRE	New AP's Join ESS	On 🔻	
Wireless	T 1 T (T		
Dadia	Tunnet interface Type	No Tunnel	•
Qos	VLAN Name	No Data for VLAN Name	•

[ESS Profile Name]

• Meru

[Enable/Disable]

• Enable

[SSID]

 $\cdot \text{ MeruTEST}$

[Security Profile Name]

• default



4 クライアント PC の設定

4-1 クライアント PC 設定の流れ

設定の流れ

- 1. ワイヤレスネットワーク接続先の登録
- 2. ユーザー証明書のインポート



4-2 ワイヤレスネットワーク接続先の登録

ワイヤレスネットワーク接続先の登録を行います。

👍 ワイヤレス ネットワーク接続のフロパティ	
全般 ワイヤレス ネットワーク 詳細設定	
✓ Windows でワイヤレス ネットワークの設定を構成する	. <u>wo</u>
←利用可能なネットワーク(№:	
	詳細を表示するに
<u> </u>	ネットワークの表示
優先ネットワーク(P): 下に一覧表示された順に、利用可能なネットワーク(E)	自動的に接待します。
) (注意tm(A)) 単版金(R) プロパティ	ω l
についての詳細を表示します。	ጋイヤレス ネットワークのプロパティ 🔹 😰 💟
	アソシエーション認証 接続
	ネットワーク名 (SSID)(N): MeruTEST
	✓このネットワークがブロードキャストしていない場合でも接続する(N)
【ネットワーク名(SSID)】	
• MeruTEST	このネットワークでは次のためのキーか必要:
【ネットワーク認証】	ボッドワーク&2aIL(<u>n</u>). データの暗号化(D): [ars]
• WPA2	
「テータの喧号化」	確認入力 ②:
· AES	キーのインデックス (詳細) 😒: 1 🚖
	▼キーは自動的に提供される(円)
	□これはコンピュータ相互 (ad hoc) のネットワークで、 ワイヤレス アクセス ポイ
	ーントを使用しない(C)
L	
	ベットンシン



ን ማብረት የአስት በ የ የ የ የ የ የ የ የ የ የ የ የ የ የ የ የ የ የ	
アソシェーション認証 接続	
認証されたネットワーク アクセスをワイヤレスのイーサネットのネットワークで提供 するには、このオブションを選んでください。	【EAP の種類】
✓ このネットワークで IEEE 802.1× 認証を有効にする(E)	・スマートカードまたはその他の証明書
EAP の種類(T): スマート カードまたはその他の証明書	【コンピュータの情報が利用できる・・・】
プロパティ(<u>R</u>)	・チェック有
▶コンピュータの情報が利用できるときは、コンピュータとして認証する())	
□ ユーザーまたはコンピュータの情報が利用できないときは、 ゲストとして 認証する(④)	
ОК Г яуди	
スマート カードまたはほかの証明書のブロパティ 🔹 🔀	【接結のための詞言大法】
接続のための認証方法:	【技続のにめの認証力法】
	・このコノヒユータの証明書を使う
□ 単純な証明書の選択を使う(推奨/M)	「単純な証明者の選択を使う」
□ 次のサーバー(ご接続する(Q):	・テエック有
信頼されたルート証明機関(R):	
AddTrust External CA Root America Online Root Certification Authority 1 CA 1 Certiposte Classe A Personne Certiposte Serveur	
証明書を表示する(E)	
 この接続で別のユーザー名を使う(D) OK キャンセル 	



4-3 ユーザー証明書のインポート

Net'Attest EPS からダウンロードしたユーザー証明書をインポートします。

本書では、デスクトップ上に保存されている「soliton_user_0E.p12」 アイコンをダブルクリックします。

soliton user (DE p12	
証明書のインボート ウィザード	
Ň Prest	証明書のインポート ウィザードの開始
	このウィザードでは、証明書、証明書信頼リスト、および証明書失効リ ストをディスクから証明書ストアにコピーします。
	証明機関によって発行された証明書は、ユーザー ID を確認し、データ を保護したり、またはセキュリティで保護されたネットワーク接続を提供 するための情報を含んでいます。証明書ストアは、証明書が保管され るシステム上の領域です。
	続行するには、じ次へ」をクリックしてください。
証明書のインボート ウィザード	
インボートする証明書ファイル インボートするファイルを指定してください。	
	<u> 次へ(W)></u> キャンセル
C¥Documents and Settings¥takahashi¥デスクトップ¥soliton_user_0Epi	12 参照(<u>R</u>)
注意: 次の形式を使うと1 つのファイルに複数の証明書を保管できます:	
Personal Information Exchange- PKCS #12(PFX,P12) Cruptographic Maccage Suntay Standard- PKCS #7 訂用出筆(P7E	0
Microsoft シリアル化された証明書ストア(SST)	<i>v</i>
	次へ(M) > キャンセル
<u>አ</u> ~-	
	▼



パスワード セキュリティを維持するために、秘密を一はパスワードで保護されていました。
秘密キーのパスワードを入力してください。
□ 秘密キーの保護を強力にする(E) このオブションを有効にすると、秘密キーがアプリケーションで使われるたびに確認を求められます。
□ このキーをエクスポート可能にする(M) キーのバックアップやトランスポートを可能にします。
〈戻る(B) 次へ(N) > キャンセル
Net'Attest EPS にてユーザー証明書を発行した
際に設定したパスワードを入力します。
【パスワード】
• password
証明書のインボート ウィザード
証明書ストア 証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。
Windows (こ証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。
● 証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)
○ 証明書をすべて次のストアに配置する(P) ■ 証明書ストア・
◎Ⅲ//) 参照(B)
〈戻る(B) 次へ(N) > キャンセル
【証明書の種類に基づいて・・・】
・ _{チェック有} 次ページへ
• • • • • • • • • • • • • • • • • • •

Seliton





4-4 インポートされたユーザー証明書の確認

Internet Explorer より、「ツール」→「インターネットオプション」→ 「コンテンツ」タブを開きます。

インターネット オブション	? 🗙
全般 セキュリティ ブライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定	
規制システムを使用すると、このコンピューターから表示できるインター 容を制御できます。	
有効にする(E) 設定(T)	
暗号化された接続と識別のための証明書を設定します。	
オートコンプリート	
オートコンプリートによって、Web ^ペ ージで前回 入力した内容を、入力中に補 <mark>見</mark> できます。	
フィードと Web スライス	
フィードと Web スライスは、Internet Explorer やその他のプログラムで読める Web サイトの更 新されたついて、いな表示でします	
	適用(<u>A</u>)
•	
証明書	?
目的(11): (すべて)	
個人 ほかの人 中間証明機関 信頼されたルート証明機関 作	言頼された発行元(言頼されない発行元)
発行先 举行者 有効期限	- フレン 約名
eps-st03.soliton.pt.com 2011/10/	<なし>
インポートし	,た証明書
インポートの	□ 詳細設定(A)
amenamena)	



改訂履歴

日付	版	改訂内容
2011/2/10	1.0	初版作成
2012/9/10	1.1	RADIUS Port を TCP から UDP に修正